

学 部	人間科学部
学 科	
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>人間とその社会および環境を理解するための科学的方法と専門的知識を習得するとともに、他者とのコミュニケーションを豊かにする幅広い視野を身につける。そして、それらの学習をとおして、身近な暮らしや仕事の課題から広く社会や環境の問題に積極的に取り組み、新しい生活や世界を切り開いていく、主体的で意欲的な「生きる力」を身につける。</p>	
<p>1. 知識・理解</p> <p>基礎から応用まで、それぞれの学問分野の基本的な研究法と知識を習得するとともに、その専門的能力を実生活で活かすために必要な幅広い教養を身につける。</p>	
<p>2. 汎用性技能</p> <p>言語（日本語と外国語）、AV（オーディオ・ビジュアル機器）、IT（コンピュータやインターネット etc.）など知的ツールを使いこなし、課題の発見、資料・情報の収集・分析、問題の解決、およびそれらについて適切なプレゼンテーションをおこなう技能を身につける。</p>	
<p>3. 態度・志向性</p> <p>自分自身の生活を自覚的に振り返りつつ、異なる価値観や生活スタイルに寛容であり、世界の不正や不条理への批判的精神も忘れず、より良い自分の人生と世界のあり方を切り開いていく生き方を身につける。</p>	
<p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力</p> <p>学習者としての基本的・汎用的な知的スキル、人間とその社会および環境についての専門的知識と研究法、それに人間としての豊かな教養を身につけ、それらの学習経験の総合の上に、その成果を現実の生活のなかで創造的に活用する思考力と実践力を身につける。</p>	

学 部	人間科学部
学 科	心理学科
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>甲南女子大学人間科学部心理学科では、基礎領域から応用領域までの幅広い心理学教育を通じて、実社会のさまざまな問題について科学的アプローチから対応できる人材育成を目標としている。</p> <p>所定の単位を修得し、以下の資質を有していることが卒業要件として求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> ・心理学の個別領域の見識だけでなく、幅広い専門領域について体系的に理解を深めていることが求められる。 ・心理学の共通基盤となる研究法について十分な知識を有している。 2. 汎用性技能 <ul style="list-style-type: none"> ・心理学科でのキャリアデザイン教育の経験を通じて、心の成長に応じたライフデザインを行う能力を身につけている。 ・科学的な心理学の視点に基づき心の問題を客観的に分析し、自らの判断で的確な解決法を導き出すことができる。 3. 態度・志向性 <ul style="list-style-type: none"> ・心理学の知識やスキルをこれからの実社会で役立てようとする向社会的な意識を持っている。 ・人間の心のメカニズムを理解することで、自分の視点だけでなく他者の視点にたって物事を考えることができる広い“こころ”を持っている。 4. 総合的な学習経験と創造的思考力 <ul style="list-style-type: none"> ・心理学の視点で現実社会を理解することで、状況に応じた的確なコミュニケーションを行える社会的スキルを身につけている。 ・心理学の研究実践の経験から、さまざまな心の問題を客観的に捉え、科学的方法での検討を行い、実証性を重んじた判断・解決を試みることができる。 	

学 部	人間科学部
学 科	総合子ども
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>総合子ども学科の社会的責務は、保幼小の資格・免許状を与える養成校として、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の優秀な人材を輩出することである。本学科が育成すべき人材は、(1) 子どもおよび子どもに関わる問題を多角的に捉えることのできる広い視野をもち、同時に、(2) 保育・教育の現場でさまざまな問題に即対応できる実践力を備えた人物である。以上の資質を養成すべき学科の目標と定め、カリキュラムに反映している。</p>	
<p>1. 知識・理解</p> <p>子どもを取り巻く諸問題に広く関心を持ち、具体的な子どもの姿に結び付けて考えることができる。虐待や待機児童の問題は今も解消されず、一方で保育の質や保育士不足といった新しい課題も浮上している。保育や子育てをめぐるこうした動向に対して理解を深めるとともに、当事者として思考し、多角的に捉えることができる。</p>	
<p>2. 汎用性技能</p> <p>保育・教育の現場におけるさまざまな状況に、的確に対応できる実践力を持つ。女性の社会進出や地域の教育力低下といった社会変化のなかで、ますます求められる保育・教育力を個別具体的に発揮し、子どもはもちろんその保護者に対する支援も行う。</p>	
<p>3. 態度・志向性</p> <p>(1) 学びの主体（園児や児童）の最善の利益を第一に考え、判断や行動をしようとする。 (2) 学びの主体（園児・児童）の成長・発達にとって最も重要な時期に保育者・教育者として関わることの自覚と責任感を持つ。 (3) 学びの主体（園児・児童）の利益と自らの成長のために学び続ける姿勢を持つ。</p>	
<p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力</p> <p>人間に対する深い洞察と尊敬を持ち、あるべき人間の姿を教育・保育の場で実現しようとして行動できる。このとき来歴を振り返り、自らの学びや育ちを支えたすべてのヒト・モノ・コトへの気づきと感謝を基盤とする。さまざまな事情で学びや育ちに必要な慈しみを一時的に欠いた対象（園児や児童）に対しては、教育・保育の場でこれを回復し、成長・発達を適切な軌道にのせていけるよう努力できる。</p>	

学 部	人間科学部
学 科	文化社会学科
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>文化社会学科では、身近な現代文化に関する興味や関心を起点として、さまざまな社会現象や社会問題が起こる背景を、フィールドワークや社会調査など社会学の技法を用いて分析することを目指す。幅広い視野で物事を多面的にとらえる社会的思考力と、自分の考えを正確に他者に説明するためのコミュニケーション能力を身につけ、実社会の幅広い分野で活躍できる人材を育成する。</p>	
<p>1. 知識・理解</p> <p>1) 文化と社会に関する幅広い教養と専門知識を獲得し、現代における人と人との結びつきを明らかにできる。</p> <p>2) 身近な現代文化が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できる。</p>	
<p>2. 汎用性技能</p> <p>1) 社会現象や社会問題に対する自らの関心を掘り下げて問題を設定し、社会学の概念を活用して、論理的に分析することができる。</p> <p>2) 自分の考え方を相手に伝わるように表現し、相手の考え方や立場を受け止めることができる。</p> <p>3) コンピュータやインターネットを活用して、情報収集・統計的なデータ分析・プレゼンテーション・情報発信などを適切に行うことができる。</p>	
<p>3. 態度・志向性</p> <p>1) 常に変化する現代社会において、さまざまな社会現象や社会問題に関心を向ける態度を身につける。</p> <p>2) 統計的数値・図表・解釈方法などをうのみにせず、根拠を重視して論理的に吟味する批判的思考の態度を身につける。</p> <p>3) 自分を見失わず、常識にとらわれず、多面的な解釈を行う態度を身につける。</p>	
<p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力</p> <p>フィールドワークなどをとおした社会生活の現場に関する多様な経験と、社会学の諸領域における知見を総合し、さまざまな社会現象や社会問題に対する自分なりの考え方を提示することができる。</p>	

学 部	人間科学部
学 科	生活環境学科
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>「生活環境学」は、学際的な規範的実践科学である。衣食住を柱とする多様な専門分野の教員と学生との密接な双方向的コミュニケーションや体験型学習に基づき、環境に対する人のあり方、暮らしのあり方等について、以下に示すような知識・教養・技術を習得し、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動する能力および態度を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識・理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 生活環境を形成する、ヒトとモノと仕組みに関する基本的知識 2) 生活環境と自然環境、社会環境との相互関係に対する理解 3) 伝統的な暮らしの知恵を科学的に捉える能力 4) 暮らしを豊かにするための知識と技能 5) 文・理融合の、モノの見方・考え方、研究手法等に関する知識・技術 2. 汎用性技能 <ol style="list-style-type: none"> 1) 生活環境に関する幅広い視野と教養 2) 問題発見能力、情報収集能力 3) 課題を整理・分析し、評価・判断し、解決に向けて主体的に行動する能力 4) 正確で分かりやすい情報伝達・プレゼンテーション能力 3. 態度・志向性 <ol style="list-style-type: none"> 1) 自らの健康と、生活を取り巻く自然環境に配慮した生活態度 2) 感性豊かな暮らしへの実践的取り組み 3) 社会貢献への積極的参画 4) 多様な価値観を承認し、主体性をもって協働的に学ぶ態度 5) 「Think Globally, Act Locally」 and 「Think Locally, Act Globally」 6) 生涯にわたり学び続ける態度 4. 総合的な学習経験と創造的思考力 <ol style="list-style-type: none"> 1) 多様な分野にわたる基礎的知識と実践的学習経験に基づく生活者としての責任の自覚 2) 自立した女性としてのライフスタイルの主体的創造 3) 生活環境問題についての Generalist かつ Specialist としての資質の習得 4) 積極的な社会貢献と持続可能な社会の構築への寄与 	